

かけはし

Vol.60
～臨時号～



- <1面>「新潟県教育の日」について / 読者プレゼント
 <2面>特集:「児童生徒の学び」について紹介 義務教育段階
 ・アントレプレナーシップ教育を推進しています
 ・科学の甲子園ジュニア新潟県大会
 <3・4面>特集:「児童生徒の学び」について紹介 高等学校教育段階
 ・高校生アカデミック・インターンシップ研修

「新潟県教育の日」について

11月1日は「新潟県教育の日」です!!

○生涯にわたって学んだことを社会で生かすことができる教育環境の整備を目的として、県議会令和4年12月定例会において、「新潟県教育の日に関する条例」が可決され、同年12月27日に公布、施行されました。

○本条例制定により、11月1日が「新潟県教育の日」、11月が本条例の目的を達成するための施策を重点的に実施する期間である「新潟県教育月間」となりました。



「新潟県教育の日」ロゴについて

新潟県教育の日に関する取組をより多くの県民の皆様を知っていただくために、公募によりロゴを作成しました。

【ロゴのコンセプト】

「日」の文字をお米の形にすることで、シンプルさの中に新潟らしさを表現しています。カラーの緑色は「安全」、「安定」などの好印象を与えるイメージにもなり、さらに親しみやすい印象を与えています。



「新潟県教育の日」について詳細は
ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/niigata-kyoikuday.html>



11月16日(土) 教育の日記念イベント開催!

県民の皆様には教育の重要性を認識いただくきっかけづくりとして、**11月16日(土)**に「新潟県教育の日」記念イベントを開催します。

新潟県教育の日 記念イベント
 学校が変わると社会が変わる ～子どもが主役の学校が未来を変える～
 今年度も県内各地で様々な取組が行われます。この日は、県内各地で開催されるイベントの中から、一部をご紹介します。

11月16日(土)
 13:30～16:50 (※会場により異なります)

第1部 基調講演 佐々木 孝一氏
 講演:「教育が変える社会」～子どもが主役の学校が未来を変える～
 佐々木 孝一氏: 新潟県教育委員会 教育長

第2部 子どもが主役の学校づくり
 講演:「子どもが主役の学校づくり」～子どもが主役の学校が未来を変える～
 佐々木 孝一氏: 新潟県教育委員会 教育長

第3部 自由参加
 講演:「自由参加」～子どもが主役の学校が未来を変える～
 佐々木 孝一氏: 新潟県教育委員会 教育長

その他県内各地では「新潟県教育の日」に関連するイベントを開催しています。ぜひ、ご参加ください!



読者プレゼント

よりよい誌面づくりのため、読者の皆様からかけはしへの感想をお聞かせください。

・かけはしへのご意見
 ・かけはしで取り上げてほしい事項 等

アンケートに答えていただいた方から
抽選で30名に「ごっつあんカレー(2箱)」
 (県立海洋高等学校相撲部が商品開発を行ったカレー)をプレゼント!!



- 1 アンケート期間
11月1日(金)から11月30(土)まで
- 2 アンケート対象者
誰でも ※お一人様1回のみ
- 3 アンケート回答方法
新潟県電子申請システム

https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14966

QRコード



特集：「児童生徒の学び」について紹介

新潟県では「一人一人を伸ばす教育」を目指し、**探究学習**を推進しています。

変化の激しい時代に対応していくためには、学校の授業で**知識を身に着けるだけではなく、主体的に課題を見つけ、解決に向かってどのように知識を使うか**が大切になってきました。現在の児童生徒たちの学びについて、取組を紹介します。



探究学習とは、児童生徒が自ら考え、課題を見つけ、主体的に学ぶ力を身につける教育です。

義務教育段階

アントレプレナーシップ教育を推進しています

アントレプレナーシップとは、アントレプレナー（起業家）に備わる様々な資質・能力等のことですが、それらは、起業家だけでなく、変化の激しいこれからの時代で活躍する人材に欠かせないものです。県教育委員会では、アントレプレナーシップ教育を通じて、児童生徒のチャレンジ精神や探究心などを育みます。

アントレプレナーシップ教育に必要な視点

- ✓ 児童生徒が自ら課題を見つける
- ✓ 実社会とつながる
- ✓ 失敗体験から学ぶ
- ✓ 社会に新たな価値を提供する



アントレプレナーシップ教育推進モデル校

県教育委員会では、アントレプレナーシップ教育推進のため、県内でモデル校を設け、実践研究に取り組んでいます。

モデル校では、地域活性化のためのアイデアを出したり、地域の事業所の協力を得てアイデアを実現したりするなどの学習に取り組んでいます。



科学の甲子園ジュニア新潟県大会

科学の甲子園ジュニア新潟県大会は、理科好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として開催しています。

9月21日に開催された新潟県大会では、予選（筆記競技）を通過した上位12チームによる実技競技が行われ、各チームの工夫が輝く勝負となりました。

【予選】筆記競技：54チーム、162人参加

【大会】実技競技：12チーム：36人参加

優勝：カカポチーム
(新潟大学附属長岡中学校)
準優勝：シーラカンチーム
(新潟明訓中学校)



今年度の実技競技は、「コマ」づくり。
不規則な形の回転板のどこに軸を挿すか、計算、作図、実験と大忙し・・・。



上位2チームが
12月21日から
23日まで姫路市
で開催される全国
大会に出場します。





学びの先に広がる無限の可能性

高校生アカデミック・インターンシップ研修

今年で6回目を迎える「高校生アカデミック・インターンシップ研修」（県教育委員会主催）は、生徒が将来進む可能性のある学問分野に関係した研究活動等を大学研究室や研究機関で体験し、学習意欲や進路意識を高め、探究する力・課題解決能力等を身に付けることを目的として実施しています。

今年度の取組について、ご紹介します。



【概要】

（研修先） 新潟大学、新潟県立大学、上越教育大学、三条市立大学、新潟県立歴史博物館
※各研修先で開設する講座（全19講座）の詳細は次頁参照

（参加者） 県立高等学校の1・2年生、中等教育学校の4・5年生の計67人

（主な内容） 生徒は、19講座から興味・関心のある研究テーマを選択し、大学教授や大学生等とともに、夏季休業期間中に1日または2日間の研究活動を体験後、事後研修会に参加し、成果を共有。



令和6年度「高校生アカデミック・インターンシップ研修」



新潟大学法学部

「公正な選挙とは何か」について、架空の生徒会選挙や市長選挙のルール作りを通して、受講者同士の意見交換等により自分の考えを深めることができました。また、まとめとして、公職選挙法の講義を受け、選挙法の理念と実際についての考察を行いました。



【ルール作りの様子】



新潟大学医学部

「大学の研究室で身近な細菌について一緒に調べてみよう!」の講座では、スマートフォンに付着している細菌を採取、培養して、細菌の特定を行う実験を行いました。生徒は細菌を目視することで、身近にいる細菌やその性質について学びました。



【スマートフォンから細菌を採取する様子】



新潟県立歴史博物館

研究分野の資料の整理や保存に関する体験、館蔵資料を用いた学芸員の仕事と博物館の役割を学びました。

研修の成果は9月末まで一般公開されました。



【研修成果の展示の様子】

8月31日(土)、各研修機関での研修を終えた生徒全員が集まり、事後研修会に参加しました。

今年度は、学習用タブレットを活用し、講座ごとに研修内容をGoogleスライドにまとめて発表することで、学びの共有化を図りました。



【事後研修会における全体説明の様子】



【発表の様子】



～参加生徒の声～

「自分が実際に体験してみることは『学び』として大きな効果があるけれど、体験していない事を聞いて想像し、理解することも『学び』につながると感じた。事後研修会で『視野を広げることの重要性』に気づくことができた。」

【R6年度研修先一覧】



新潟大学

人文学部	哲学対話をやってみよう
法学部	「公正な選挙」って何だろう？ ～選挙のルール作りを通して考えてみよう！～
経済科学部	アニメの絵コンテから作り手と視聴者との映像的コミュニケーションを研究してみよう
医学部	「がん」とは何かを考える
	大学の研究室で身近な細菌について一緒に調べてみよう！
	看護の『みえる化』 みて・ふれて・体験してみよう 
歯学部	歯ぐきの細胞による再生医療(培養細胞で患者さんの病気を治す)の実践に触れてみませんか。
工学部	いろいろな情報技術を体験・比較してみよう
農学部	身の周りの植物成分について
創生学部	AIやDXで何ができるか、またその課題を文理融合視点で考えてみよう！

新潟県立大学

国際地域学部	激動する日・米・中の国際環境と新潟
人間生活学部	小学校1年生の体力・運動能力テスト結果から観る幼児期の課題 

上越教育大学

学校教育実践研究コース	ボイストレーニングと効果的な声の表現活動
教科教育・教科複合実践研究コース	「描く」ことの基本を学ぶ
	天の川銀河の電波を観測してみよう
	英語が「できる」ようになるには ～リスニングとスピーキングに焦点を当てて～



三条市立大学

工学部 技術・経営工学科	AIのプログラミングに挑戦しよう
	環境に優しい発電装置を作ってみよう



新潟県立歴史博物館

学芸課・経営企画課	学芸員の仕事を通して、博物館の役割を考える
-----------	-----------------------

今後も、生徒が自己を理解し、将来に向けた明確な目標を持つことができるよう、新潟県教育委員会ではキャリア教育を推進していきます。